

ご 案 内

1. 受付について

1) 受付時間

日にち	参加登録受付時間	専門医証 (IDカード) 受付時間
11月23日 (木・祝)	7:30~17:00	7:30~17:00
11月24日 (金)	7:30~17:00	7:30~17:00

2) 受付場所

パシフィコ横浜 会議センター 2F エントランス

3) 参加費

18,000円です。ネームカードに、所属・氏名をご記入の上、必ずご着用ください。

4) 新入会費・年度会費

総合受付内の日本耳科学会事務局受付にてお支払いください。

5) 日本耳鼻咽喉科学会専門医の単位登録

本学会は、日本耳鼻咽喉科学会認定専門医制度の認可学術集会です。

学術講演会に参加して、専門医証の受付をすることで、学術業績・診療以外の活動実績として2単位、耳鼻咽喉科領域講習（モーニング教育セミナー1~12）の受講で1時間1単位（上限2単位）を取得できます。

<専門医証 (IDカード) の受付について (学術業績・診療以外の活動実績)>

はじめに学術講演会の参加登録受付を行っていただき、参加証をご着用の上、参加受付横の「専門医証 (IDカード) 受付」でIDカードの受付をお願いいたします。

<耳鼻咽喉科領域講習について>

ネームカードについている「耳鼻咽喉科領域講習受講証明書引換券」を耳鼻咽喉科領域講習会場退出時に、係員に渡してください。引換券と引き換えに受講証明書を配布いたします。開始5分以降の入場はできません。

※「耳鼻咽喉科専門医証 (IDカード)」または、「学術集会参加報告票」をお忘れの方は、「学術集会参加報告票とネームカードのコピー」を、学会終了後1週間以内に第27回日本耳科学会主催事務局（慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科）までご郵送ください。

6) 新医師臨床研修中の初期研修医および医学部学生の皆さまへ

※参加費は無料です。

※参加希望の方は、事前に大会HPより申込用紙をダウンロードの上、必要事項を記入し、電子メールで医学部耳鼻咽喉科教授、耳鼻咽喉科研修指導責任者を通じて運営事務局まで申込みください。

※当日、総合受付で氏名と所属を申し出てください。

2. 口演発表について

- 1) 特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション、日本耳科学教育セッション、テーマセッション、日韓 English セッション、モーニング教育セミナー、日本耳科学会奨励賞受賞講演、ランチョンセミナー、イブニングセミナーの司会ならびに演者の先生方へ
①発表データ受付は、セッションの開始30分前までにお済ませください。

- ②該当セッションの開始 15 分前までに次演者、次座長席にご着席ください。
 - ③セッション内の進行は司会の先生の指示に従ってください。
 - ④シンポジウム、パネルディスカッション、テーマセッション 1～6、日韓 English セッションの発表スライドは英語でご作成ください。
 - ⑤日韓 English セッションの発表は英語となります。
- 2) 一般演題の座長ならびに演者の先生方へ
- ①発表データ受付は、セッション開始 30 分前までにお済ませください。
 - ②該当セッションの開始 15 分前までに次演者、次座長席にご着席ください。
 - ③発表時間は 10 分（発表 7 分、質疑応答 3 分）です。
 - ④発表終了 1 分前（発表開始 6 分後）に黄色ランプ、発表終了時（発表開始 7 分）に赤色ランプで合図いたします。時間を厳守してください。
- 3) 発表形式・データ受付
- ①データ受付場所 パシフィコ横浜 会議センター 1F エレベーターホール横
 - ②データ受付時間

日にち	データ受付時間
11 月 23 日（木・祝）	7：30～16：30
11 月 24 日（金）	7：30～14：00

③発表形式

- 発表はすべてコンピュータを用いた形式とします。
- 各会場にはコンピュータ Windows 10（PowerPoint2007、2010、2013、2016 解像度 XGA 1024×768）を準備いたします。
- 発表データは、Windows 版 PowerPoint2007、2010、2013、2016 で作成し、媒体（USB フラッシュメモリ等）に保存してご持参ください。
- フォントは文字化けを防ぐため、下記フォントに限定します。
日本語・・・MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
英語・・・Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
- プレゼンテーションに他のデータ（静止画・グラフ等）をリンクさせている場合は必ず「図」として挿入してください。元のデータから「リンク」させることは、トラブルの原因となりますので、避けてください。
※事前に必ず作成に使用されましたパソコン以外でのチェックを行ってください。
※動画を使用する場合はバックアップとしてご自身のパソコンもご持参ください。
※Macintosh を使用する場合は、必ずご自身のパソコンをお持込みください。
※すべてのご発表について、音声の使用は可能です。

④発表データ受付

- 発表の 30 分前までに、発表データ受付へデータご持参ください。
受付終了後、PC オペレーター立ち会いのもとで動作確認（試写）を行ってください。
- オペレーターがデータを受け取り、サーバーにコピーします。コピーされたデータは発表会場に送られてスタンバイしています。発表の 15 分前までに会場にお越しいただき、次演者席でお待ちください。なお、コピーしたデータは会期終了後、主催者事務局にて責任をもって消去いたします。

OS	作成ソフト	データ預かり	パソコン持込
Windows 10	PowerPoint 2007 (Windows 版)	○(動画可)	○
	PowerPoint 2010 (Windows 版)	○(動画可)	○
	PowerPoint 2013 (Windows 版)	○(動画可)	○
	PowerPoint 2016 (Windows 版)	○(動画可)	○
	上記以外のソフト	×	○
Macintosh		×	○

- ノートパソコンをお持ち込みの場合は、データ受付にて映像出力を確認し、発表者ご自身で会場内のPC操作席に発表の15分前までにお持ちください。ノートパソコンは講演終了後、PC操作席にて返却いたしますので、忘れずにお持ち帰りください。
- ⑤ノートパソコンお持ち込みの注意点
 - ノートパソコンお持ち込みの場合でもバックアップ用データとして媒体（USBフラッシュメモリ等）をご持参ください。またパソコンのACアダプターは必ずご用意ください。
 - 会場で用意するPCケーブルコネクタの形状はMini D-sub 15pinです。この形状にあったパソコンをご用意ください。またこの形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でお持ちになってください。
 - スクリーンセーバー、省電力設定、ならびにパスワードはあらかじめ解除してください。
 - スムーズな進行のために、発表者ツールのご使用はご遠慮ください。

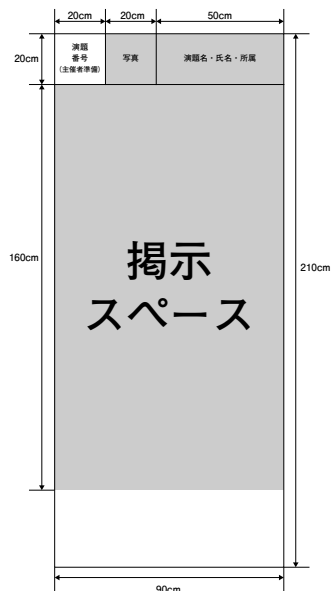
3. ポスター発表について

1) ポスター発表の座長の先生方へ

- ①ポスター会場1（3F「311+312」）前通路に設置いたします「ポスター座長受付」で座長用リボンをお受け取りの上、定刻までに担当ポスターパネル前でお待ちください。進行スタッフより指示棒をお渡ししますので定刻になりましたらセッションを開始してください。
- ②発表時間の計時とマイク操作にスタッフがつきます。
- ③セッションが終了しましたら、進行スタッフに座長用リボンと指示棒をご返却ください。

2) ポスター発表の演者の先生方へ

- ①ポスターパネルは右図の要領で用意します。演題名、演者名、所属は20cm×50cm、演者顔写真は20cm×20cmの枠内、発表内容は160cm×90cmの枠内でご準備ください。演題番号、掲示用のピン、演者用リボンは事務局にて用意いたします。



- ②動画再生等をされたい場合は、ご自身でパソコン、iPad 等をお持ち込みいただき、発表時にご利用されても構いません。
- ③ポスター演者の受付はありません。発表者は指定された時間にポスター会場内に設置してあるポスターパネルに直接ポスターを掲示してください。掲示用のピンを各パネル前にご用意しております。
- ④発表者は発表開始時刻までに演者用リボンを付けて、ポスターパネルの前で待機してください。
- ⑤発表時間は6分（発表4分、質疑応答2分）です。
- ⑥発表終了後、撤去時間を過ぎても撤去されないポスターは事務局で処分いたしますので、あらかじめご了承ください。

3) ポスター貼付、発表・討論、撤去時間

貼付時間	11月23日（木・祝）	8：00～12：00
供覧時間	11月23日（木・祝）	12：00～17：30
	11月24日（金）	9：00～15：50
発表・討論時間	11月24日（金）	15：50～17：40
撤去時間	11月24日（金）	17：40～18：00

4) Best Poster Award（優秀ポスター賞）

ポスター演題の中より優れた発表を行った方を表彰いたします。

受賞者の発表と表彰式は会員懇親会で行い、受賞者にはオリジナルの記念品をお渡しいたします。

4. 役員会

1) 理事会

11月22日(水) 15時00分～ パシフィコ横浜 会議センター 3F「311+312」

2) 代議員総会

11月22日(水) 16時00分～ パシフィコ横浜 会議センター 3F「303+304」

5. 会員懇親会

11月24日(金) 18時10分～ 横浜ベイホテル東急 B2F「クイーンズグランドボールルーム」

*参加費は無料です。

6. ハンズオンセミナー

①11月23日(木) AM ②11月23日(木) PM

③11月24日(金) AM ④11月24日(金) PM

パシフィコ横浜 会議センター 3F「301+302」(医療機器展示会場内)

⑤11月25日(土) AM

パシフィコ横浜 会議センター 4F「416+417」(C会場)

ハンズオンセミナー インストラクター：

伊藤 吏 (山形大)、稲垣 彰 (名古屋市大)、我那覇 章 (琉球大)、
小林 泰輔 (高知大)、須納瀬 弘 (東京女子医大東医療センター)、
高橋 邦行 (新潟大)、羽藤 直人 (愛媛大)、平海 晴一 (岩手医大)、
増田 正次 (杏林大)、山内 大輔 (東北大)、山本 典生 (京都大)、
山本 裕 (東京慈恵会医大)

7. 側頭骨削開デモンストレーション

11月23日(木)～11月24日(金)

パシフィコ横浜 会議センター 3F 「301+302」(医療機器展示会場内)

※自由参加となります。詳細は学会ホームページをご参照ください。

術式・インストラクター：

想定病態：弛緩部型真珠腫 stage I

1. 経外耳道的上鼓室開放 増田 正次 (杏林大)
2. 後壁保存型 我那覇 章 (琉球大)
3. TEES 小林 泰輔 (高知大)

想定病態：弛緩部型真珠腫 stage II TAM

4. 後壁削除・乳突開放型 須納瀬 弘 (東京女子医大東医療センター)
5. 後壁削除・乳突非開放型 平海 晴一 (岩手医大)
6. 後壁保存型 羽藤 直人 (愛媛大)
7. TEES 伊藤 吏 (山形大)

想定病態：緊張部型真珠腫 (鼓室洞進展)

8. 後壁保存～削除型 山本 裕 (東京慈恵会医大)
9. TEES 山内 大輔 (東北大)

その他の術式・アプローチ

10. 顔面神経減荷術 稲垣 彰 (名古屋市大)
11. 人工内耳植え込み術 山本 典生 (京都大)
12. 経迷路法 (聴神経腫瘍) 須納瀬 弘 (東京女子医大東医療センター)

8. ヒトおよびモルモット側頭骨組織標本供覧

①11月23日(木) 10:00～12:00 ②11月23日(木) 14:00～16:00

③11月24日(金) 10:00～12:00 ④11月24日(金) 14:00～16:00

パシフィコ横浜 会議センター 3F 「301+302」(医療機器展示会場内)

※各回、自由参加となります。直接会場へお越し下さい。

インストラクター：側頭骨組織病理研究教育ワーキンググループ・他

高橋 晴雄 (長崎大)、喜多村 健 (茅ヶ崎中央病院)、伊藤 健 (東京大)、
鎌倉 武史 (大阪母子医療センター)、假谷 伸 (岡山大)、
鈴木 聡明 (だて耳鼻科パオパオ)、萩森 伸一 (大阪医大)、山野 貴史 (福岡歯大)、
その他ボランティア複数名

9. 日本耳科学会 2017 「ポストコンgress・ワークショップ」

11月25日(土)

A会場(パシフィコ横浜 会議センター 4F「419」)

『人工聴覚器ワークショップ』 8:30~11:00

司会: 宇佐美真一(信州大) 新規医療・国内学術担当理事

8:30~9:10

人工内耳の適応拡大に向けて

(人工聴覚器ワーキンググループ)

1. 成人人工内耳適応基準改定の概要(10分)

岩崎 聡(国際医療福祉大三田病院)

2. 症例からみた適応拡大の有用性(5分×5)

(1) 長崎大学症例における適応拡大の有用性 高橋 晴雄(長崎大)

(2) 成人人工内耳の適応基準について~語音聴力の評価 土井 勝美(近畿大)

(3) 神戸市民病院症例における適応拡大の有用性

内藤 泰(神戸市立医療センター中央市民病院)

(4) 新・成人人工内耳適応基準の意義~東京医療センターの症例から

南 修司郎(東京医療センター)

(5) 愛媛における適応拡大の有用性報告

羽藤 直人(愛媛大)

9:10~9:40

韓国における人工内耳の現状と将来展望

Prof. Oh, Seung Ha (Seoul National University College of Medicine)

9:40~10:20

片側性難聴に対する人工聴覚器の適応

(片側性~非対称性難聴に対する人工聴覚器成績評価法検討ワーキンググループ)

1. 片側性難聴の検査バッテリー(6分)

西尾 信哉(信州大)

2. 片側性難聴に対する人工聴覚器症例の検討(5分×6)

(1) 片側性難聴に対する人工内耳の経験 神崎 晶(慶應義塾大)

(2) 片側性難聴に対する人工内耳:方向感と聴取能 鬼頭 良輔(信州大)

(3) アブミ骨手術後に一側聾となった症例における、人工内耳の語音聴取能

~BAHA,CROSとの比較~

熊川 孝三(虎の門病院)

(4) ムンプス一側ろうに対する人工内耳小児症例~preliminary report~

神田 幸彦(神田 ENT 医院)

(5) 一側混合難聴に対する人工中耳(VSB)症例

高橋 優宏(国際医療福祉大三田病院)

(6) 一側性先天性外耳道閉鎖症に対する骨導インプラント成績

松田 圭二(宮崎大)

10:20~11:00

人工聴覚器の語音聴取評価:CI2004の標準化とHI2018策定に向けて

(CI2004の標準化と人工聴覚器装用のための語音聴取評価検査 HI2018検討ワーキンググループ)(6分×6)

(1) 語音聴取評価検査の概要(iPadベースの検査、Olsa検査)

茂木 英明(信州大)

- | | |
|---------------------|---------------|
| (2) 正常人に対する成績 | 井脇 貴子 (愛知淑徳大) |
| (3) 難聴者／人工内耳装用者での成績 | 熊谷 文愛 (虎の門病院) |
| (4) 難聴者／人工中耳装用者での成績 | 松田 悠佑 (宮崎大) |
| (5) 難聴者／補聴器装用者での成績 | 八重樫恵子 (岩手医大) |
| (6) 難聴者／EAS 装用者での成績 | 鈴木久美子 (信州大) |

B 会場 (パシフィコ横浜 会議センター 4F 「418」)

I. 側頭骨形態学ワークショップ 8:30~10:30

1) 側頭骨臨床解剖教育ワーキンググループプレゼンツ (8:30~9:30)

司会: 東野 哲也 (宮崎大) ワーキンググループ座長

- ① 専門医に必要な側頭骨臨床解剖の基礎知識
平海 晴一 (岩手医大) ワーキンググループ副座長
- ② 術式別側頭骨モデル削開
山本 裕 (東京慈恵会医大)
- ③ 側頭骨画像を用いた手術支援の最前線
松本 希 (九州大)

2) 側頭骨組織病理教育研究ワーキンググループプレゼンツ (9:30~10:30)

司会: 高橋 晴雄 (長崎大) ワーキンググループ座長

- ① 正常側頭骨解剖の知識と CT 画像との比較
萩森 伸一 (大阪医大) ワーキンググループ副座長
- ② 専門医に必要な側頭骨病理の基礎知識 (ミネソタ大学コレクションから)
假谷 伸 (岡山大)
- ③ 側頭骨組織病理研究の最前線 (ハーバード大学への留学経験から)
鎌倉 武史 (大阪母子医療センター)

II. 3D 画像研究会 10:30~12:00

司会: 村上 信五 (名古屋市大) 研究会当番世話人

- ① 耳科疾患の診断に必要な画像と診断のピットフォール
小川 洋 (会津医療センター) 側頭骨臨床解剖教育ワーキンググループ
- ② 耳科手術に必要な画像診断 —必要な画像と読影のコツ—
萩森 伸一 (大阪医大) 側頭骨組織病理教育研究ワーキンググループ
- ③ 聴衆参加型ランチョン・カンファランス

C 会場 (パシフィコ横浜 会議センター 4F 「416+417」)

側頭骨削開ハンズオン (6 ブース) 8:30~12:00

実習指導: 耳科学会側頭骨臨床解剖教育ワーキンググループメンバー

受講料: 2万円 (側頭骨モデル1側、90分)

10. 医療機器展示会場

パシフィコ横浜 会議センター 3F 「301+302」

11. 書籍展示

パシフィコ横浜 会議センター 3F エスカレーター脇

12. ドリンクサービス

パシフィコ横浜 会議センター 3F 「301+302」(医療機器展示会場内)

13. クローク

パシフィコ横浜 会議センター 1F エントランス

14. インターネット (無線 LAN のご利用)

パシフィコ横浜 会議センターでは会期中、無料館内Wifiが利用できます。

- ・アクセスポイント (SSID) : FREE-PACIFICO
- ・パスワード : 不要

15. その他

- 1) 抄録集は各自ご持参ください。なお、プログラム集は総合受付にて配布いたします。
- 2) 会場内での携帯電話・PHSのご使用及び講演スライドの撮影はご遠慮ください。
撮影希望の場合は事前に事務局へ申請の上、腕章を着用ください。
- 3) 呼び出しの際には総合受付にお越しください。

16. 事務局

慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

TEL : 03-5363-3826 FAX : 03-3353-1261

Email : jika27@gakkai.co.jp